

長坂由佳

アンカーコム株式会社 代表取締役

### 1. 養護施設に入所するまで ～小学3年生まで

昭和 38 年 2 月、愛知県名古屋市中で生まれる。

両親と 3 歳違いの妹の 4 人家族。小学 1 年生までは裕福な家庭に育つ。

小学 1 年生の頃、父親の会社が経営不振となり、借金、倒産、破産、夜逃げ・・・と、環境が激変する。

小学 3 年生で母親が家出、両親が離婚。父親と妹との 3 人生活が始まるが、父親が荒れて生活が破綻し児童養護施設へ預けられる。

### 2. 児童養護施設での 6 年間の暮らし(小学 3 年生から中学卒業まで)

小学 3 年(9 才)お寺が運営する児童養護施設に入所。

幼児から中学生(義務教育)まで約 40 人、女兒のみの施設。職員も女性のみ。

6 時起床、境内の掃除、読経で始まる毎日。お小遣いやお菓子など自由にならない厳しい生活。

若い保母にスリッパで殴られたことなどあり、いい思い出はほとんどない。

原則、義務教育までの施設だったため、中学卒業時に妹と一緒に卒園。

生活を改めた父親と 3 人の生活が始まる。

### 3. 施設卒園から～ 幼少時の生い立ちを隠さず言えるようになるまで

1981 年 高校卒業後、東京にて(株)イトーヨーカ堂に入社。入寮。

1984 年～ プラグラマ・SE としてソフトウェア会社に勤務。宅地建物取引主任者資格取得。

1988 年 25 才のとき、父死去

1993 年～ 都市開発コンサルタント会社に勤務。

1997 年～ アンカーコム(株)を設立。ソフトウェア受託開発、パソコン教室の経営

1999 年～ 10 商店街合同・地域情報サイト「ささはたドットこむ」プロデュース、制作、運営。

地域コミュニティビジネス、地域活性化と IT 活用分野に注力。

2004 年～ 日経新聞社主催「日経地域情報化大賞」日経 MJ 賞受賞

-----  
2000 年 子宮頸がん 初期 非浸潤

2007 年～ 右乳がん 浸潤、リンパ節転移あり。ステージ II b、手術、抗がん剤、放射線治療。

-----  
2010 年～ がん患者さんが治療生活中に必要とするものをワンストップサービスするネットショップ「キャンライフ」(<http://www.canlife.jp/>)を始める

高校時代から自立し、卒業後も独学でキャリアを積み、資金を貯めて起業。

地域活性化分野の中でも特に困難と言われている商店街活性化 & IT 活用分野に取り組み評価を得たことや、乳がん治療後にがん患者さんのネットショップを立ち上げたことなど、一般的に困難と言われることにあえて取り組み、成功するまであきらめない生き方を、親友は、生い立ちによるところが大きいと言うが・・・